

いじめのない たのしい学校



令和8年度は、646人の児童と62人の教職員でスタートしました。今年のキャッチフレーズは、昨年と同様に、「いじめのない たのしい学校」としました。

昨年度まで、前年比で欠席者や保健室利用者の減少がみられ、いじめの認知件数も減少しています。また、高学年教科担任制により、授業が楽しいと感じる児童が増えました。こうしたよさを継続し、よりよい正木小学校をつくっていき

たいと考えています。今年もよろしくお願ひします。今年度の正木小学校の経営の特徴をお知らせします。

1 たのしい授業へ ～教科担任制の拡大と探究的な学び～

5年生と6年生で実施していた教科担任制を、4年生、3年生まで段階的に拡大し、教科担任制を一層、進めます。1年生と2年生は原則、学級担任制としますが、一部の授業で、教科担任の先生が授業を受けもちます。総合的な学習の時間を中心に、一人一人が調べたいことや知りたいことを追究する「探究的な学び」の時間を設定します。学びの主体は児童であり、将来に向けて学び続ける基礎を培っていきたいと考えています。「もっと学びたい」「もっと知りたい」「もっと確かめたい」そんな、「もっと」が子どもたちから出てくるような授業になるように、改善していきます。

2 たのしい生活へ ～子どもたちを元気に、先生を元気に～

日本赤十字社岐阜県支部の事業「JRC未来応援プロジェクト助成校」となりました。活動テーマは、保健委員会から全校へ「健康で安全な学校づくり」です。保健委員会が中心となって子どもたちの健康づくりの活動を展開します。

いじめのない学校の実現のため、いじめの未然防止に力を注ぎます。生徒指導主事が中心となって、よさを見つける活動を進めます。いじめが起きたら、すぐに組織的に対応します。

教職員の子育て支援制度（育児短時間勤務、早出遅出勤務、育児休業、特別休暇など）を活用して、仕事の育児の両立を図り、先生を元気にします。育児にかかる時間の確保のため、担任が一日のうち、勤務しない時間があることもあります。学年や学校全体で対応します。

3 たのしい体験へ ～体験に勝るものなし。体験から学ぶ学校へ～（予定）

（6年生）県の事業 飛騨小坂巖立峡滝めぐりの散策、己書体験、化石教室ほか

(5年生) 田植え稲刈り体験、県の事業 緑と水の子ども会議ほか

(4年生) 市社会福祉協議会と連携した福祉体験、緑と水の子ども会議ほか

(3年生) 羽島市内探検、緑と水の子ども会議ほか

(2年生) 正木町探検、緑と水の子ども会議ほか

(1年生) 正木町探検ほか

(特別支援) 金華山登山、パークブリッジ体験、ボウリング体験ほか

4 たのしい英語 ～世界で活躍する日本人を目指して～

スリランカ国の「シギリヤ・セントラル・スクール」の児童と本校児童のオンライン交流

5,6年生の外国語科や3,4年生の外国語活動での教科担任制の授業を行います。

正木万博(2年目)、海外とのオンライン交流(予定)オーストラリアほか

5 たのしい学校 ～学校同士をつないで、活動を進めます～

羽島中学校、羽島中学校区小学校、鹿児島県指宿市立丹波小学校(オンライン交流2年目)、直接交流やオンライン交流を行い、様々な児童や生徒とつなげます。

6 夢を考える職業教育 ～将来の夢について考える機会をつくれます～

地域の職業人による「生き方教室(全校)」4年目。児童の要望を踏まえ、新しい講師をお願いし、夢を実現して社会で活躍する職業人の姿を伝えることで、子どもたちに憧れをもたせたいと考えています。

7 幼保小連携 ～園と小学校を結び付け、安心して通うことができる学校にします～

まさきこども園、羽島幼稚園、ひかり泉こども園、足近保育園との連携(職員交流、園児来校など)を継続します。4年目。園児が本校で過ごすことで、小学校に慣れ、安心して入学、生活できる環境を整えます。

8 地域発信

総合的な学習の時間で追究した探究的な学びの成果を、保護者や地域の方に発信する活動に取り組みます。校内、地域のごみを児童が拾い、美しい学校、地域をつくる運動を進めます

こうした教育活動を進めることができるのは、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげです。令和8年度もよろしく願いいたします。校長 花村伸二